

高知県感染症発生動向調査（週報）

2025年 第36週 （9月1日～9月7日）

★県内での感染症発生状況

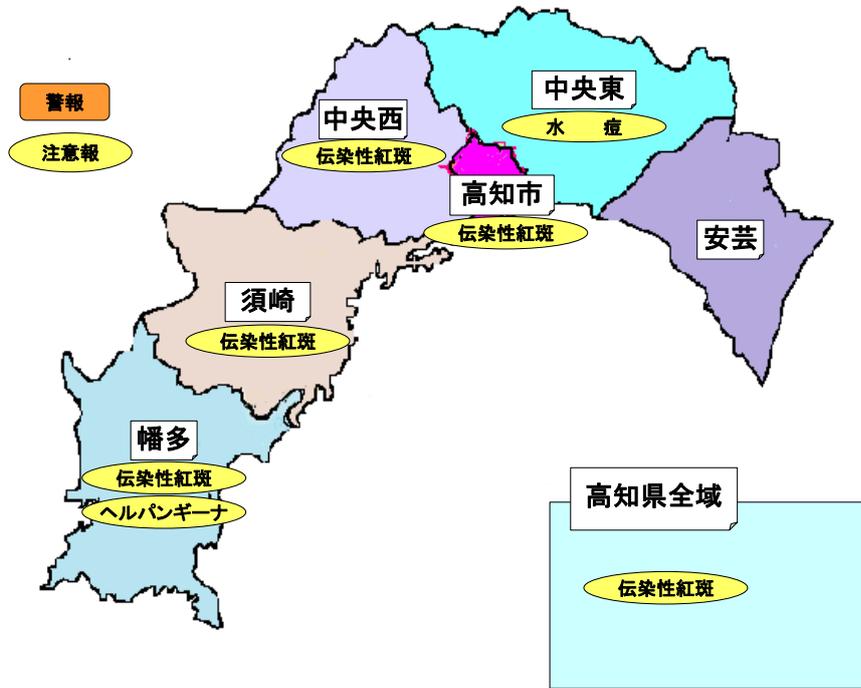
急性呼吸器感染症及び小児科定点把握感染症（上位5疾患）

疾病名	推移	定点当たり報告数	保健所管内別の傾向
新型コロナウイルス感染症	➡	11.29	幡多で増加しています。
RSウイルス感染症	➡	2.05	須崎で急増、高知市、中央東で増加しています。
感染性胃腸炎	➡	1.55	中央西で急増していますが、中央東で急減、高知市で減少しています。
ヘルパンギーナ	➡	1.15	安芸で急増、高知市で増加していますが、中央西で急減、須崎で減少しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	➡	1.05	中央東で急増、高知市で増加していますが、中央西で急減しています。
伝染性紅斑	➡	1.05	幡多、須崎で急増、高知市で増加していますが、中央西、中央東で減少しています。

<推移の基準>

急増	↑	前週と比較し、2倍以上の場合	減少	➡	前週と比較し、0.5倍以上～0.8倍未満の場合
増加	➡	前週と比較し、1.2倍以上～2倍未満の場合	急減	↓	前週と比較し、0.5倍未満の場合
横ばい	➡	前週と比較し、0.8倍以上～1.2倍未満の場合			

★地域別警報・注意報状況



★週報の発行日

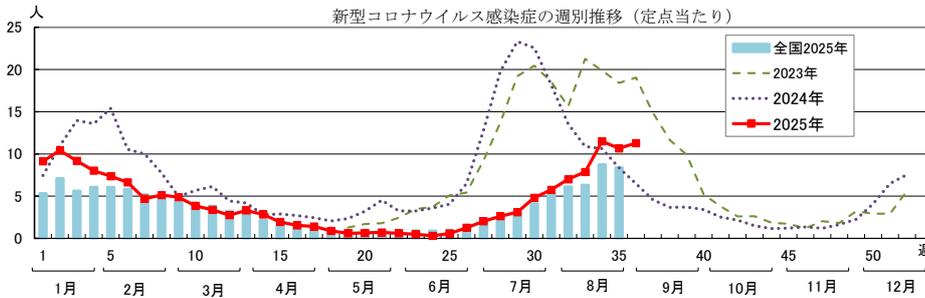
週報は、毎週「木曜日」の午後3時30分以降に発行します。

ただし、「火曜日」「水曜日」「木曜日」が祝日の場合は、「金曜日」になります。

★気になる感染症

新型コロナウイルス感染症

週数	新規感染者数	定点当たり感染者数
第32週 8/4～8/10	266	7.00
第33週 8/11～8/17	299	7.87
第34週 8/18～8/24	437	11.50
第35週 8/25～8/31	405	10.66
第36週 9/1～9/7	429	11.29



高齢者や基礎疾患のある方が感染すると重症化するおそれがありますので、高齢の方と会ったり、通院するときは、マスクの着用など感染対策をお願いします。

●新型コロナウイルス変異株情報

		オミクロン株					
月	週	NB.1.8.1	PQ.2	PQ.17	XEC.4	XEC.6	総計
6	23						0
	24						0
	25						0
	26						0
7	27					1	1
	28	2					2
	29	1					1
	30	1					1
	31	2	1		1		4
8	32	1					1
	33	2		1			3
	34	1					1
	35		1				1
6月～8月 ウイルス検出割合		NB.1.8.1	PQ.2	PQ.17	XEC.4	XEC.6	
		10	2	1	1	1	計
		66.7	13.3	6.7	6.7	6.7	%

【参考】新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）変異株について

<https://id-info.jihs.go.jp/diseases/sa/covid-19/180/flu2-1-1.html>

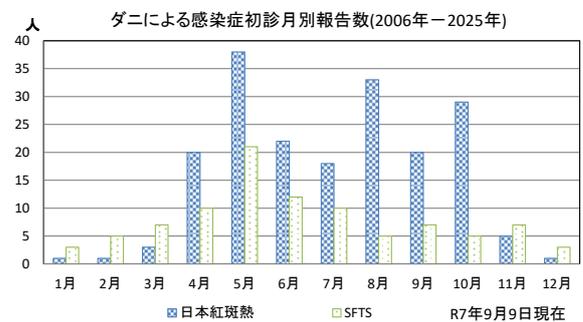
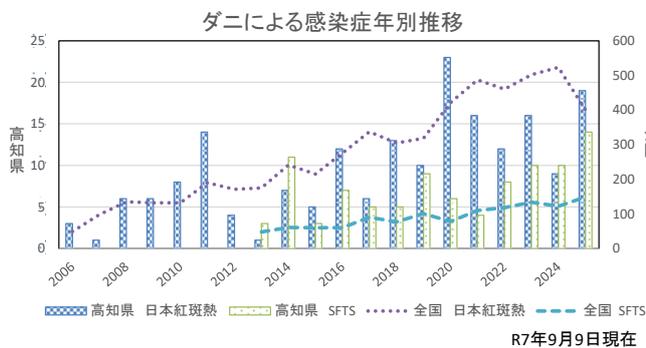
●予防方法・注意点

- *手洗い、十分な換気、密接・密集・密閉といったいわゆる「三密」を避ける、咳エチケットなどの感染対策をお願いします。
- *医療機関や高齢者施設など重症化リスクの高い方々が集まる場所を訪れる場合は、マスクの着用ほか、施設の定めるルールに従いましょう。
- *発熱等の症状のある方は、出勤や登校を控え、マスクを着用のうえ、医療機関を受診（特に高齢者・基礎疾患を有する方）しましょう。

●学校感染症

学校保健安全法（同法施行規則第19条）では、出席停止期間の基準が「発症した後5日を経過（発症日を0日目とカウント）し、かつ、症状が軽快した後1日を経過（軽快した日を0日目とカウント）するまで」と規定される学校感染症（第2種）です。

ダニの感染症(日本紅斑熱・SFTS)



第36週は中央西保健所管内から「日本紅斑熱」1件の報告がありました。

ダニの感染症の報告が増加しており、特にSFTSは、全国・高知県共に2013年の届け出開始以降最多の報告数となっています。

「日本紅斑熱」や「SFTS（重症熱性血小板減少症候群）」は、屋外に生息する比較的大型（吸血前で3~4mm）の「マダニ」が媒介する感染症です。

マダニは、春から秋にかけて活動が活発になります。農作業やレジャーなど野外での活動が多くなる時期には、マダニが媒介する感染症のリスクが高まります。（全てのマダニが病原体を持っているわけではありません）。

また、ネコやイヌなどの動物が感染、発症した場合、その血液や唾液などの体液に直接接触することで感染する可能性があります。ペットの健康状態の変化に注意し、体調不良の際には、咬まれたり舐められたりしないように注意してください。必要な場合は動物病院を受診しましょう。また、ペットがマダニに咬まれないようダニ駆除剤を使用することも有効です。獣医師に相談しましょう。

●予防方法

- *マダニに「咬まれないようにする」ことが予防策になります。
- *野山や畑などに出る時には、長袖・長ズボンを着用し、肌の露出を避けましょう。
- *忌避剤（虫よけ剤）を効果的に使用しましょう。（説明書の注意書に沿って使用してください）
- *野外活動後はダニに咬まれていないか確認しましょう。
- *飼っているネコやイヌが外で咬まれることもあります。ブラッシング等をこまめにしてマダニを持ち込まないようにしましょう。
- *体調不良のペットに触れたときは、手洗いを心がけてください。

●発熱等の症状が出た場合

- *野山に入って数日~数週間経過した後、発熱等の症状が出た場合は、医療機関を受診してください。
- *受診の際は、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニに咬まれた可能性）を伝えてください。

●参考

*重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に関するQ&A（厚生労働省）
http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/sfts_qa.html

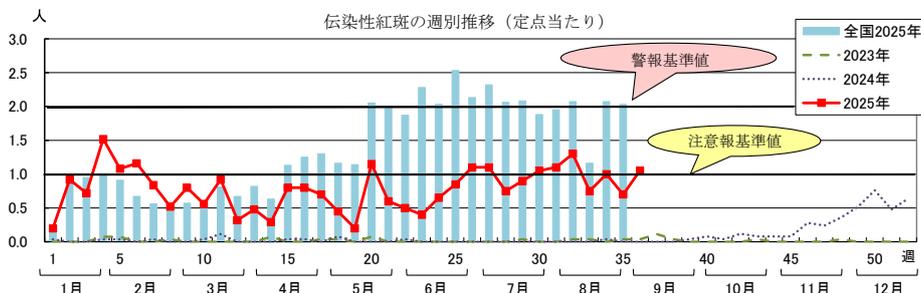
*高知県衛生環境研究所 ダニが媒介する感染症及び注意喚起パンフレット
<https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/2024022700074/>

伝染性紅斑

県内の報告数は、昨年と同時期と比較すると非常に多い状態が続いており、全国も同様の傾向です。伝染性紅斑は別称「リンゴ病」と呼ばれ、頬がリンゴのように赤くなります。

約10～20日の潜伏期間の後、両頬に鮮明な赤い発疹が現れ、体や手足に網目状の発疹が広がり、通常1週間程度で消失します。多くの場合、頬に発疹が出現する7～10日前に微熱や風邪のような症状がみられ、この時期にウイルスの排出が最も多くなります。発疹が現れる時期にはウイルスの排出量は低下し、感染力もほぼ消失します。

これまで伝染性紅斑に感染したことのない女性が妊娠中（特に妊娠初期）に感染した場合、胎児にも感染し、胎児水腫などの重篤な状態や、流産のリスクとなる可能性があります。熱や倦怠感が出現した後に発疹が出るなど、伝染性紅斑を疑う症状がある場合は、医療機関を受診しましょう。また、感染しても症状がない場合（不顕性感染）もあるため、周囲に伝染性紅斑の人がいる場合は妊婦健診の際に医師に伝えてください。



●予防方法

- *飛沫や接触感染するので、手洗い、咳エチケット等の予防対策が有効です。
- *予防接種はありません。
- *ウイルス排出時期には特徴的な症状を示さない場合もあるので、妊娠中あるいは妊娠の可能性のある女性は、できるだけ発熱などの症状のある患者との接触を避けるよう注意しましょう。

●学校感染症

伝染性紅斑は学校保健安全法（同法施行規則第19条）では、出席停止期間の基準が「発疹（リンゴ病）のみで全身症状がよければ登校可能」と規定される学校感染症（第3種）です。ただし、この出席停止期間は病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めたときは、この限りでないと規定されています。

★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
36	手足口病	発疹	5	女	須崎	Human herpes virus 7
36	伝染性紅斑	発疹	4	男	須崎	human parvovirus B19 Epstein-Barr virus Human herpes virus 7
35	手足口病	発疹	3	女	須崎	Rhinovirus
36	—	発疹	3	女	須崎	Epstein-Barr virus
36	伝染性紅斑	発疹	3	女	須崎	Rhinovirus
36	COVID19、伝染性紅斑	発疹	4	女	須崎	Echovirus 9
36	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	38℃, 咳嗽	1	男	須崎	Adenovirus 1
36	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	咳嗽	7か月	男	幡多	Parainfluenza virus 2 Rhinovirus

★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所
2 類	結 核	1	41	50 歳代 女性	高知市
		1		50 歳代 女性	幡 多
4 類	日本紅斑熱	1	19	70 歳代 女性	中央西
5 類	侵襲性肺炎球菌感染症	1	12	30 歳代 女性	高知市
		1		5~9 歳 女性	中央東
	1	30 歳代 女性	高知市		
	1	0~4 歳 男性			
	1	0~4 歳 女性			
	3	5~9 歳 男性			
	1	5~9 歳 女性			
	4	10~14 歳 男性			
	2	10~14 歳 女性			
	1	15~19 歳 女性			
	1	30 歳代 男性		中央西	
	2	40 歳代 男性			
	1	50 歳代 女性			
	1	60 歳代 女性			
	1	0~4 歳 男性	幡 多		
	2	5~9 歳 男性			

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情 報
安 芸	室戸市立室戸診療所	インフルエンザ A 型 1 例
中央東	いちはら内科・小児科	百日咳 1 例 (16 歳女) マイコプラズマ感染症 1 例 (12 歳男) インフルエンザ A 型 2 例
	高知大学医学部付属病院小児科	マイコプラズマ 1 例 (14 歳女)
	早明浦病院小児科	カンピロバクター+Ecoli 1 例 (8 歳男) COVID-19 3 例 (9~13 歳)
	JA 高知病院小児科	ヘルパンギーナ 1 例 カンピロバクター胃腸炎 1 例 アデノウイルス咽頭炎 1 例 RS ウイルス気管支炎 10 例 COVID-19 3 例 咽頭結膜熱 2 例 水痘 4 例 手足口病 1 例 伝染性紅斑 2 例 35 週マイコプラズマ (Lamp 法) 4 例 百日咳 (Lamp 法) 1 例
高知市	けら小児科・アレルギー科	マイコプラズマ感染症 8 例 (2 歳 2 人、4 歳、7 歳 2 人、10 歳、11 歳、15 歳) 百日咳 1 例 (10 歳) RS ウイルス感染症 10 例 インフルエンザ A 型 2 例 COVID-19 17 例 カンピロバクター腸炎 1 例 (17 歳)
	はまだ小児科	インフルエンザ A 型 5 例 (全て A 型)

保健所	医療機関	情 報
高知市	福井小児科・内科・循環器科	溶連菌感染症・COVID-19同時感染3例(7歳男、10歳女、13歳男) 溶連菌感染症7例 伝染性紅斑7例 手足口病4例 ヘルパンギーナ2例 水痘1例(11歳男:ワクチン2回済) COVID-1918例(増加している) インフルエンザA型1例
	ふないキッズクリニック	マイコプラズマ感染症2例(3歳男、5歳女) インフルエンザA型4例
	細木病院小児科	百日咳1例(5歳女) マイコプラズマ肺炎1例(4歳男) マイコプラズマ感染症4例(1歳女、2歳男、8歳男、13歳女) インフルA型1例 COVID-19 10例 溶連菌感染症3例 手足口病2例 伝染性紅斑2例 ヘルパンギーナ4例
中央西	くぼたこどもクリニック	マイコプラズマ感染症4例(5歳男2人、10歳男、50歳女)
	日高クリニック	マイコプラズマ気管支炎2例(5歳男、6歳女) アデノウイルス扁桃腺1例(1歳女) インフルエンザ4例(うちA型1人、3人不明)
須 崎	須崎くろしお病院内科	インフルエンザA型2例 インフルエンザB型1例
	もりはた小児科	RSウイルス感染症1例(1歳) 水痘1例 伝染性紅斑2例 インフルエンザA型6例 COVID-19 14例 肺炎マイコプラズマ感染症5例 百日咳1例(8歳)
幡 多	こいけクリニック	インフルエンザA型2例 百日咳2例(4歳男、6歳女) マイコプラズマ肺炎1例(9歳女) 35週 病原性大腸菌感染症0-145 ベロT(+) 1例(10歳女)

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生環境研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1 高知県保健衛生総合庁舎2階
TEL：088-821-4961 FAX：088-821-4696

※この情報に記載のデータは2025年9月9日現在の情報により作成しています。

★高知県感染症情報 疾病別・地域別報告数

高知県感染症情報（49定点医療機関）

第36週 令和7年9月1日（月）～令和7年9月7日（日）

高知県衛生環境研究所

定点名 (定点数)	疾病名等	保健所	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国(35週)	高知県(36週未累計) R6/12/30～R7/8/31	全国(35週未累計) R6/12/30～R7/8/31
急性呼吸器 感染症 (38)	急性呼吸器感染症(ARI)*		70	250	877	191	76	223	1,687 (44.39)	1,602 (42.16)	191,135 (49.75)	32,070 (843.95)	4,264,180 (1113.65)
	インフルエンザ		1	4	14	4	9	4	36 (0.95)	28 (0.74)	1,347 (0.35)	8,150 (214.47)	627,174 (147.71)
	新型コロナウイルス 感染症		29	67	130	75	39	89	429 (11.29)	405 (10.66)	32,197 (8.37)	6,542 (172.16)	556,981 (131.18)
小児科 (20)	咽頭結膜熱			2	1		1	1	5 (0.25)	2 (0.10)	589 (0.25)	187 (9.35)	36,020 (13.65)
	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎			1	18	1		1	21 (1.05)	20 (1.00)	3,695 (1.58)	1,649 (82.45)	200,858 (76.14)
	感染性胃腸炎			1	17	1	3	9	31 (1.55)	41 (2.05)	10,159 (4.33)	2,961 (148.05)	614,246 (232.85)
	水痘			4	1		1		6 (0.30)	()	457 (0.19)	115 (5.75)	31,331 (11.88)
	手足口病			1	9	2	2		14 (0.70)	24 (1.20)	1,199 (0.51)	328 (16.40)	19,346 (7.33)
	伝染性紅斑			2	10	2	2	5	21 (1.05)	14 (0.70)	4,754 (2.03)	616 (30.80)	120,804 (45.79)
	突発性発疹				3		1		4 (0.20)	11 (0.55)	771 (0.33)	198 (9.90)	24,993 (9.47)
	ヘルパンギーナ		1	3	9		2	8	23 (1.15)	25 (1.25)	2,788 (1.19)	736 (36.80)	37,178 (14.09)
	流行性耳下腺炎								()	1 (0.05)	112 (0.05)	30 (1.50)	4,819 (1.83)
	RSウイルス感染症			11	28	1	1		41 (2.05)	26 (1.30)	3,013 (1.28)	644 (32.20)	66,339 (25.15)
眼科 (3)	急性出血性結膜炎								()	()	10 (0.01)	()	895 (1.30)
	流行性角結膜炎								()	()	754 (1.08)	31 (10.33)	19,984 (28.92)
基幹 (8)	細菌性髄膜炎								()	1 (0.13)	6 (0.01)	3 (0.38)	322 (0.67)
	無菌性髄膜炎								()	()	32 (0.07)	7 (0.88)	647 (1.35)
	マイコプラズマ肺炎			1	9				10 (1.25)	14 (1.75)	504 (1.05)	209 (26.13)	9,853 (20.53)
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)								()	()	2 ()	()	74 (0.15)
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)			1					1 (0.13)	()	5 (0.01)	23 (2.88)	1,737 (3.62)
計 (ARIを除く)		31 (11.00)	98 (18.39)	249 (24.91)	86 (23.25)	61 (18.50)	117 (21.28)	642 (21.92)			62,394	22,429 (759.83)	2,373,601
前週 (ARIを除く)		36 (12.00)	85 (15.04)	263 (26.61)	92 (26.75)	56 (16.25)	80 (16.47)		612 (21.48)				

*ARIの定義：医師が感染症を疑う外来症例で、かつ発症から10日以内の急性症状（咽痛、咽頭腫、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上）を呈している症例

注 () は定点当たり人数

*ARIの集計法：上記症状の患者を集計するため、インフルエンザやCOVID-19、咽頭結膜熱等の患者と重複している場合があります

高知県感染症情報（49定点医療機関） 定点当たり人数

第36週

定点名 (定点数)	疾病名等	保健所	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国(35週)	高知県(36週未累計) R6/12/30～R7/8/31	全国(35週未累計) R6/12/30～R7/8/31
急性呼吸器 感染症 (38)	急性呼吸器感染症(ARI)*		23.33	35.71	67.46	47.75	19.00	31.86	44.39	42.16	49.75	843.95	1113.65
	インフルエンザ		0.33	0.57	1.08	1.00	2.25	0.57	0.95	0.74	0.35	214.47	147.71
	新型コロナウイルス 感染症		9.67	9.57	10.00	18.75	9.75	12.71	11.29	10.66	8.37	172.16	131.18
小児科 (20)	咽頭結膜熱			0.50	0.13		0.50	0.33	0.25	0.10	0.25	9.35	13.65
	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎			0.25	2.25	0.50		0.33	1.05	1.00	1.58	82.45	76.14
	感染性胃腸炎			0.25	2.13	0.50	1.50	3.00	1.55	2.05	4.33	148.05	232.85
	水痘			1.00	0.13		0.50		0.30		0.19	5.75	11.88
	手足口病			0.25	1.13	1.00	1.00		0.70	1.20	0.51	16.40	7.33
	伝染性紅斑			0.50	1.25	1.00	1.00	1.67	1.05	0.70	2.03	30.80	45.79
	突発性発疹				0.38		0.50		0.20	0.55	0.33	9.90	9.47
	ヘルパンギーナ		1.00	0.75	1.13		1.00	2.67	1.15	1.25	1.19	36.80	14.09
	流行性耳下腺炎									0.05	0.05	1.50	1.83
	RSウイルス感染症			2.75	3.50	0.50	0.50		2.05	1.30	1.28	32.20	25.15
眼科 (3)	急性出血性結膜炎										0.01		1.30
	流行性角結膜炎										1.08	10.33	28.92
基幹 (8)	細菌性髄膜炎									0.13	0.01	0.38	0.67
	無菌性髄膜炎										0.07	0.88	1.35
	マイコプラズマ肺炎			1.00	1.80				1.25	1.75	1.05	26.13	20.53
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)												0.15
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)			1.00					0.13		0.01	2.88	3.62
計 (ARIを除く)		11.00	18.39	24.91	23.25	18.50	21.28	21.92			759.83		
前週 (ARIを除く)		12.00	15.04	26.61	26.75	16.25	16.47		21.48				

*ARIの定義：医師が感染症を疑う外来症例で、かつ発症から10日以内の急性症状（咽痛、咽頭腫、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上）を呈している症例

*ARIの集計法：上記症状の患者を集計するため、インフルエンザやCOVID-19、咽頭結膜熱等の患者と重複している場合があります

疾病別・年齢別報告数

高知県感染症情報（49定点医療機関）		疾病別・年齢別報告数														2025年		36w										
定点 (定点数)	疾病名等	合計	0歳	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上														
急性呼吸器感染症(38)	急性呼吸器感染症 (ARI)*	1,687	140	576	357	131	59	47	61	63	56	44	65	88														
定点 (定点数)	疾病名等	合計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上						
急性呼吸器感染症(38)	インフルエンザ	36			3	1	4	4	3	3	1		2	1	6	1		6		1								
	新型コロナウイルス感染症	429	4	5	10	5	6	2	7	6	4	9	7	30	22	34	40	47	52	39	46	54						
定点 (定点数)	疾病名等	合計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20歳以上												
小児科(20)	咽頭結膜熱	5	1		2	2																						
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	21			1		1	1	2	2	5	2		5		2												
	感染性胃腸炎	31		2	6	5	5	2	2	3	2	2		1	1													
	水痘	6		1				1	1		2			1														
	手足口病	14		2	4	1	5		2																			
	伝染性紅斑	21			1	3	6	3	2			4	1			1												
	突発性発疹	4			4																							
	ヘルパンギーナ	23	1	6	4	4	2	1	2	2				1														
	流行性耳下腺炎																											
RSウイルス感染症	41	2	11	13	8	4	1	1	1																			
定点 (定点数)	疾病名等	合計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上							
眼科(3)	急性出血性結膜炎																											
	流行性角結膜炎																											
定点 (定点数)	疾病名等	合計	0歳	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70歳以上										
基幹(8)	細菌性髄膜炎																											
	無菌性髄膜炎																											
	マイコプラズマ肺炎	10		3	2	2	1		1		1																	
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)																											
	感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	1			1																							

*ARIの定義：医師が感染症を疑う外来症例で、かつ発症から10日以内の急性症状（咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上）を呈している症例
 *ARIの集計法：上記症状の患者を集計するため、インフルエンザやCOVID-19、咽頭結膜熱等の患者と重複している場合があります

疾病別年次報告数推移 2025年第36週

(急性呼吸器感染症定点・小児科定点・眼科定点)

